

熊本で開催される世界大会への 出場が楽しみです

● **世界大会が熊本で開催されることについての思い**
チームに入った時、熊本で世界大会が開催されるということを知り、出場するために頑張ってきた。ヒロカトペアとして出場できればうれし
いです。



● **バドミントンの魅力**
相手がいてこそ成り立つスポーツなので、駆け引きが魅力です。見ている人も楽しめると思います。

● **読者へのメッセージ**
町の皆さんの支えがあって、バドミントンに打ち込むことができているので、期待に応えられるようもっと頑張ります。

● **バドミントンを始めたきっかけ**
バドミントン選手だった母の影響を受け、私も9歳の時に始めました。

● **得意なショット**
スマッシュです。

● **大会への意気込み**
海外の試合に比べてたくさんの方が応援に来てくれると思うので、ヒロカトペアとしてその応援に応えられるよう頑張ります。そして、自分たちも大会を楽しみたいと思っています。



KUMAMOTO
SAISHUNKAN
BADMINTON TEAM

廣上 瑠依 選手
RUI HIROKAMI

令和5年から熊本で開催されるバドミントンの世界大会「熊本マスターズジャパン」。町内企業の再春館製薬所所属の選手もこの大会に出場予定です。活躍が期待される選手に意気込みなどを聞いてきました。

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「まち全体が
学びの場」

Vol.49



広安小ドリームましまきっ子のした
木下かおりさん

子どもの成長も見守り育む

見守りボランティアをしていた男性が「わしゃ、たいぎやなうれしかった!」と私に教えてくれました。「おじさん、僕のこと覚えてますか? 僕が広安小に通っていた時に、通学路でいつも見守ってくれていましたよね」とバスの中で高校生に声を掛けられたそうです。

広安小の子どもたちは、多くの地域ボランティアの人に関わってもらいながら日々を過ごしています。その関わりを経て、子どもたちは「安全に楽しい気持ちで学校に来ることができ、おかげで学校が好きになりました(1年)」、「僕も自分から進んで何かをできる人になりたいです(4年)」と考えるようになってきています。

子どもたちが地域の皆さんとの触れ合いを通して、益城の人を誇りに思い、心も成長させていることをうれしく思います。

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「町に虹色の
輝きを」

Vol.15



地域おこし協力隊
なかむらこうすけ
中村康佑さん

防災のための場・きっかけづくり

9月1日は「防災の日」。関東大震災の発災日に由来し、今年には100年目という節目の年です。町近辺では7月に震災ミュージアム KIOKU(南阿蘇村)がオープンするなど、伝え学ぶ場も増えました。

にじいろも「記憶のプロムナード」を備え、熊本地震の経験や教訓を伝える「記憶の継承」に取り組んでいます。7月からは住民発案で防災スキルを学び、食事を楽しみ語らう夜市イベントを開催中。9月2日には「防災の日」に関連して、体験ワークショップや見学ツアー、「記憶の継承」トークイベントなど、楽しく学ぶイベントを行う予定です。

防災って意識すると大変ですが、いろんなきっかけがあって、人それぞれ入りやすいところから考え始められるといいなと思います。僕は趣味のアウトドアを生かしてキャンプ道具で防災バッグを作ろうかな。